

高等学校教育の在り方ワーキンググループ 中間まとめ（令和5年8月） 概要

I. これからの高等学校の在り方に係る基本的な考え方

高校教育の実態が地域・学校により非常に多様な状況にあるため、質の確保・向上に向けて、「多様性への対応」と「共通性の確保」を併せて進める必要

■ 多様性への対応

- 地理的状況や各学校・課程・学科の枠に関わらず、いずれの高校においても多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学びを実現

■ 共通性の確保

- 「自己を理解し、自己決定・自己調整ができる力」の育成
- 「自ら問いを立て、多様な他者と協働しつづ、その間に対する自分なりの答えを導き出し、行動することのできる力」の育成
- 「自己の在り方生き方を考え、当事者として社会に主体的に参画する力」の育成
- 義務教育において修得すべき資質・能力の確実な育成など、「知・徳・体のバランスのとれた土台」の形成

取り組み
ことが
特に重要

II. 各論点に対する現状・課題認識と具体的方策

主役手帳の凡例 ○：法令・通知等 □：予算事業（予算事業によって調査を行うものを含む）◇：調査 ☆：その他取組

1 少子化が加速する地域における
高校教育の在り方

- 少子化の影響により多くの地域で統廃合が進行。今後15歳人口の減少は一層加速。小規模校の教育条件の改善が必要。
- 生徒が行きたいと思える学校づくり、特色化・魅力化が必要。

小規模校の教育条件の改善に向けて

- 教科・科目充実型遠隔授業における要件（受信側教室の教員配置要件、対面授業に係る要件）の弾力化
- 全日制・定時制課程における通信教育の活用に向けた制度改正（国内の他の高校に一定期間留学する場合等）
- 配信センターの体制・環境整備、学校間連携等の促進
- ◇ スクール・ミッション、スクール・ポリシー等を踏まえた学校教育活動の実施・改善、学校の特色化・魅力化
- ☆ 都道府県と市町村の連携・協力による学校運営
- 地域や学校を越えた生徒同士の学びのプラットフォームの構築
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入等による学校と地域社会の連携・協働の推進
- 学校における働き方改革の推進、コーディネーター等の配置支援

2 全日制・定時制・通信制の望ましい在り方

- 不登校児童生徒数が義務教育段階を中心に増大。高校段階では通信制の生徒数が近年急増。
- 全日制・定時制・通信制いずれの課程にあっても、柔軟で質の高い学びを保障していくことが必要。

生徒の多様な学習ニーズに応える
柔軟で質の高い学びの実現に向けて

- 全日制・定時制課程における不登校生徒の学習機会の確保
- 自宅等からの同時双方向型の遠隔授業や通信教育の活用に向けた制度改正
 - 上記に係るモデル事例の創出
 - 履修・修得の柔軟な認定の促進
 - 学びの多様化学校や校内教育支援センターの設置促進
 - 不登校経験が不利益に扱われない高校入学者選抜 等
- 通信制課程における優良事例の創出等
- ◇ 不登校生徒に対する継続的な実態調査
- ☆ 通信制課程の制度や特徴に係る情報発信
- SC・SSWの配置充実、心理・福祉分野に強みや専門性を有する教師の育成等
- 公立通信制高校等の機能強化等
- 通級指導・日本語指導の実施に向けた体制整備
- 学校と地域社会の連携・協働の推進

3 社会に開かれた教育課程、
探究・文理横断・実践的な学び

- 高校生の3割が家や塾で学習を「しない」と回答。
- 授業の満足度・理解度は学年が上がるとともに低下。
- 多くの高校で文理のコース分けがなされ、特定の教科を十分に学習しない傾向。

全ての生徒の学びの充実に向けて

- 普通科改革の促進、コーディネーターの配置支援を通じた探究・文理横断・実践的な学びの推進
- グローバル人材育成に資する拠点校の整備等、国際的な教育を行う高校の整備推進・運営支援
- 理数系教育の更なる充実
- 産業界等と専門高校の連携・協働の強化、取組の横展開に向けた支援
- 学校における働き方改革の推進
- 教師の資質・能力の向上のためのオンライン研修コンテンツの開発支援、探究型の研修の開発・普及
- ☆ 大学入学者選抜の改善（学力の3要素の多面的・総合的な評価への改善、文理横断的な学びを進める観点からの出題科目の見直し等の促進）
- 学校と地域社会の連携・協働の推進
- 学校間連携等の促進

中間まとめ本文はこちら→



Date. 2024.03.29

生徒を主語にした
高等学校教育の
実現に向けた取組



高等学校教育の在り方ワーキンググループ
中間まとめの概要



文部科学省

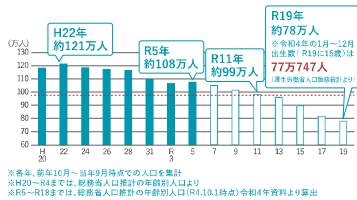
現在の高等学校には、中学校を卒業後ほとんどの生徒が進学しています。そのため、生徒は様々な入学動機や進路希望、興味・関心を持って高校に通っています。また、社会全体では少子化が進み、不登校経験を持つ生徒も増えています。そのような中で、これまでのままの学校のあり方では、生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応しきれない場合があります。そのような課題に対応して、「生徒を主語にした」高等学校教育の実現を目指す必要があります。

高等学校教育を取り巻く現状と課題

1

少子化が加速する地域における高等学校教育の在り方

少子化の影響により、多くの地域で統廃合が進行しています。また、今後も15歳人口はより減少していく見込みのため、生徒数が少ない小規模校でも、多様なニーズに応じた学習内容の充実のための工夫や改善が必要です。

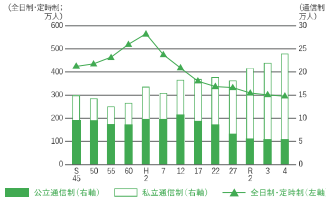


対策案 P2～3

2

全日制・定時制・通信制の望ましい在り方

小中学校で不登校の児童生徒数が増え、高校段階では不登校経験を持つ生徒が通信制高校に入学する例も増えています。不登校となっても全日制・定時制でも学び続けられるように、学びの柔軟化などが必要です。



対策案 P4～5

3

社会に開かれた教育課程の実現、探究・文理横断・実践的な学びの推進

高校生の3割が家等で全く勉強しないなど、学習時間の課題や、授業の満足度・理解度に課題があります。また、多くの高校で文理分けがなされ、特定の教科について十分に学習しない傾向もあります。さらに、大学においてはデジタルなどの成長分野への学部再編などが進んでいますが、文理選択で理系を選択する生徒が少ないという現状もあります。

そのため、生徒の各教科・科目への関心を、文理横断的に幅広く高めると同時に、将来の自分の在り方や社会との関わり方を意識しながら学べるようにすることが必要です。

対策案 P6

1. 少子化が加速する地域における高等学校教育の在り方

詳細はこちらをご覧ください(P7～13)



小規模校の教育条件の改善に向けて

1 遠隔授業を受ける教室

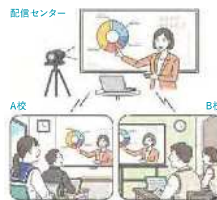


高校生の皆さんが受けられる教科・科目の選択肢を広げるため、条件に適合、受信側の教室等において教員免許をもっていない様々な職員の方がサポートできるようにします。

解説

遠隔授業とは、当該教科の免許を持った先生(配信側)が、例えば、離島や中山間地域などの学校にいる生徒(受信側)に向けて、オンラインで授業を行うことです。これまで、受信側に教員免許を持った先生がいなかった学校は行えなかったが、一定の条件を満たせば、教員免許をもっていない学校の職員(スクールカウンセラーや学習補助員など)が教室にいれば授業を行えるようになります。

3 多様な学習ニーズに対応する環境



遠隔授業や通信教育を活用した学校間連携等のネットワークを構築するための配信センターの整備を進めます。

解説

高校の通信教育とは、通信制の高校で行われている教育のことです。全日制課程や定時制課程とは違い、毎日登校する形式ではなく、
 ①自宅などで課題に取り組み、先生が添削を行う、
 添削指導
 ②学校等に登校して、対面で指導を受ける、面接指導
 ③試験
 の3つで、単位修得を行います。

2 遠隔授業における対面授業



高校生の皆さんが受けられる教科・科目の選択肢を広げるため、離島・中山間地域等の事情がある場合、先生と生徒の関係を重視しつつも、柔軟に対面授業の回数を設定できるようにします。

4 通信教育の活用



国内の他の高校に一定の期間留学した場合などに、履修できなかった科目を通信教育でも勉強できるようにします。

解説

離島や中山間地域にある高校などに高校2年生の1年間通う「地域留学」の仕組みなどがあります。ただ、別の学校で学ぶため、時間割(カリキュラム)が異なることで履修できない科目が発生してしまうことがあります。



小規模校の教育条件の改善に向けて

5 学校の魅力化・特色化



学校の指針となるスクール・ミッション、スクール・ポリシーを常に改善することや、地域や大学と連携した授業を行う高校づくりなど、各学校の特色化・魅力化を引き続き進めることで、生徒にとって魅力的な学校づくりを進めます。

解説

- スクール・ポリシーとは、簡単に言うと、目指す学校の在り方のことです。
- スクール・ミッションとは、簡単に言うと、その学校の教育活動の基本方針のことです。

6 地域を越えたつながり



小規模高校などの生徒でも、総合的な探究の時間などで、同じ興味・関心を持っている仲間を見つけて学び合える環境づくりを目指します。

7 都道府県と市町村の連携・協力による学校運営

8 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入等による学校と地域社会の連携・協働の推進

解説

コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みです。

9 学校における働き方改革の推進、コーディネーター等の配置支援

解説

コーディネーターは、高等学校の魅力化・特色化にあたり、学校と学校外の様々な関係機関との連携の中枢となる専門人材です。



生徒の多様な学習ニーズに応える柔軟で質の高い学びの実現に向けて

1 不登校生徒の自宅からの遠隔授業・通信教育



全日制・定時制課程の不登校生徒が学習が続けられるように、単位数の上限の範囲内で、自宅等から高校の同時双方向型の遠隔授業を受講することを可能とし、通信教育の活用を可能とするために制度を改正しました。

3 自宅等からの同時双方向型の遠隔授業や通信教育の活用に向けた制度改正に係るモデル事例の創出

4 不登校経験が不利益に扱われない高校入学選抜等

解説

調査書（内申書）において欠席日数が多い場合でも、自己申告書の提出により高校入学への意欲を示す機会を確保する等の入学選抜が行われる例があります。

2 通信制課程の質の確保・向上



通信制課程については、より質を確保・向上させることが必要です。また、少ない登校回数下でも、人間関係を構築しながら、自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働する環境を整えるために、モデルとなる優良事例をつくります。

5 学びの多様化学校や校内教育支援センターの設置促進

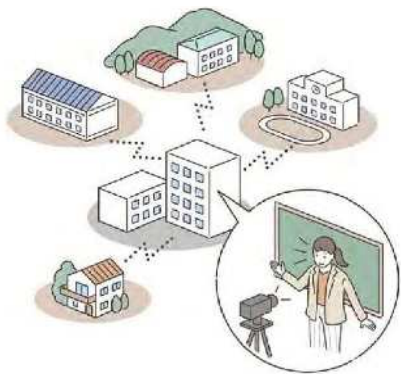
解説

学びの多様化学校では、不登校生徒に配慮したカリキュラムで教育を実施することができます。

6 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置充実など

生徒の多様な学習ニーズに応える柔軟で質の高い学びの実現に向けて

7 公立通信制高校等の機能強化



公立通信制高校等を機能強化し、中心拠点・配信センターとして、遠隔授業や通信教育を活用したネットワークを構築するモデルを創出します。

9 通信制課程の制度や特徴に係る情報発信

10 不登校生徒に対する継続的な実態調査

11 通級指導・日本語指導の実施に向けた体制整備

解説

・通級指導は、通常の学級に在籍する児童生徒に、一部の時間で、障害に応じた特別な指導を実施する指導形態です。
・日本語指導が必要な外国人生徒等へ一人一人の状況に応じた日本語指導等を行います。

8 履修・修得の柔軟な認定の促進

遠隔授業や通信教育、補講などによって十分な学習ができた場合には、生徒一人一人の実情に応じて柔軟に履修・単位修得の認定ができるように、教育委員会や学校などの理解促進を行います。

12 学校と地域社会の連携・協働の推進

全ての生徒の学びの充実に向けて

1 探究的な学びなどの推進



探究・文理横断・実践的な学びの推進や、高校の特色化・魅力化を進めます。そのために、学校外のような関係機関等との連携協力体制の整備や、その連携協力を支えるコーディネーターを学校に配置できるよう支援します。

3 専門高校と産業界等との連携・協働の強化



専門高校において、企業等の外部の方が学校運営に参画して、協働して社会に開かれた教育課程を実現する取組を進めます。

2 グローバル人材育成に資する拠点校の整備



国内外の大学等との連携で文理横断的に社会課題の解決や学術的な問いに向き合う探究的な学びを推進するため、グローバル人材育成に資する拠点校の整備などを行います。

4 理数系教育の更なる充実

5 学校における働き方改革の推進

6 教師の資質・能力の向上のためのオンライン研修、コンテンツの開発支援、探究型の研修の開発・普及

7 大学入学者選抜の改善

(学力の3要素の多面的・総合的な評価への改善、文理横断的な学びを進める観点からの出題科目の見直し等の促進)

8 学校と地域社会の連携・協働の推進

9 学校間連携等の促進



みんなでつくる、
神戸の学び



自他を大切に
自ら考え
未来をつくる



目指す人間像

心豊かに たくましく 生きる人間

確かな学力、健康・体力とともに、様々な体験を通して豊かな心を養い、自ら目標に向かってたくましく生きる人間の育成を目指していきます。



教育ビジョン

自他を大切に 自ら考え 未来をつくる

自他を大切にし、多様な仲間とつながり、対話を重ねる経験を通じ、自律心や社会性、協調性を養います。
子どもたち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、未来の創り手となれるよう育みます。



5つの取り組み

これからの5年間、教育ビジョンを展開するため、5つの方針に沿った取り組みを重点的に実施し、さらに学びを充実させていきます。

子どもが主役の これからの学び

主体的・対話的で深い学びや体験活動等を通して、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、子どもたちの個性を生かし、よさを伸ばします。

これからの時代において必要となる問題発見・課題解決能力や創造力、異文化や多様な背景を持つ人々への理解を深めます。



自他を尊重し、
命を大切にする心の育成

主体的に運動やスポーツに
親しむ機会の拡充

AIなどの技術や情報を
適正に活用する力の育成

個別最適な学びと
協働的な学びの充実

体験学習や
芸術文化活動の充実

全日制高等学校の
特色化・魅力化と
定時制教育の充実

社会とつながる
探究的な学びの充実

想像力、思考力、表現力などを
養う読書活動の推進

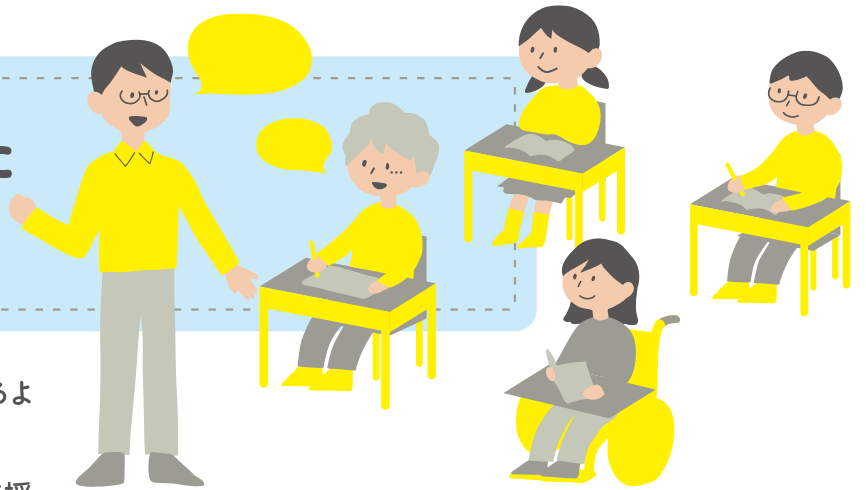
幼児教育の充実と
幼保小の円滑な学びの接続

英語の実践的な
コミュニケーション能力向上
および異文化などの理解

神戸ならではの
防災教育の推進

一人ひとりに応じた きめ細かな支援

子どもたちが生き生きと学校生活を送れるよう、「行きたくなる学校づくり」を進めます。多様な教育ニーズに対してきめ細かな支援を行い、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育を推進します。



多様な学びの場の確保などによる一人ひとりに応じた不登校支援の充実

外国人児童生徒に対する支援の拡充

いじめ未然防止学習の推進

専門人材や関係機関との連携の強化

組織的な対応によるいじめの早期発見と対応

児童生徒や保護者向けの分かりやすい教育相談窓口の充実

障がいに応じた特別支援教育の充実



安全・安心で 過ごしやすい環境づくり

自律心や自己肯定感を育む子どもが主体の学校づくりの推進

ICT学習環境の充実と教育データの利活用に向けた環境づくり

学校給食の魅力化と食育の推進

学校規模の適正化による教育環境の向上

学校施設の安全・安心確保と機能向上

通学路の安全対策の推進

子どもたちが学びたくなる教育環境を整え、誰もが安全・安心で快適な学校生活を送ることができる環境づくりを推進します。

子どもたちの学習能力・情報活用能力の向上のため、オンライン学習等を進める基盤となるICT学習環境の更なる充実を図ります。



子どもに向き合い 寄り添える学校づくり

教員の積極的採用と
優秀な人材の確保

学校の業務と活動の
見つけ直しなどによる
働き方改革の推進

学校園の組織力を高める
適材適所の人事配置の推進

校務DXの推進や
外部人材の活用

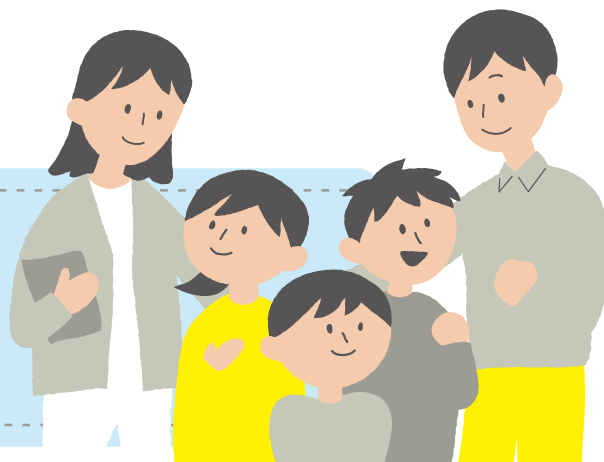
教職員の資質向上と
キャリア形成

学年(チーム)担任制の
推進

教職員の
メンタルヘルス対策の充実

教職員が生き生きとした姿で子どもたちと向き合い、一人ひとりに寄り添える教育環境をつくり、真に必要な教育活動に力を注いでいけるよう、働き方改革を推進します。学校の組織力の更なる向上を図ることで教育全体の質を高め、子どもたちの健やかな成長に繋がります。

地域とともにつくる 開かれた学校



保護者や地域等との積極的に連携し、子どもたちの学びの充実や教育課題の解決を図ります。

地域活動等の拠点として学校施設を有効活用し、地域とともにつくる開かれた学校を実現します。

神戸の教育を効果的に情報発信し、「選ばれるまち」を目指します。

コミュニティ・スクール*の
推進による地域との
連携・協力活動の活性化

*学校運営協議会を設置し、
保護者や地域との連携・協力活動を
推進する仕組み。

スポーツ、芸術文化、市民福祉活動などの
推進に向けた学校施設の
さらなる有効活用

社会教育施設などを活用した
豊かな学びの充実

企業、団体や地域などとの
連携や協働による
多様な学びの提供

市長部局や大学などとの
連携による放課後の
子どもの居場所づくり

中学校部活動の
地域移行

神戸の教育の効果的な
情報発信

これからの神戸の学び

学校は、子どもたちが、
多くの仲間や大人と出会い、
いろいろな経験を通じ、成長する場

自分らしさを大事にしつつ、仲間を大切にし、
人とつながる楽しさを実感する場

それぞれの学びの中から、
興味や関心を深め、夢を育む場

自他を大切に、自ら考え、未来をつくる力を育む、
子どもたちが主役の
「行きたくなる学校」をつくっていきます

これからの「神戸の学び」をともに
進めていきましょう

発行 **神戸市教育委員会**

〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1-3-3
神戸ハーバーランドセンタービル
ハーバーセンター4階

2024年4月発行



神戸市教育委員会
WEBサイト



神戸市
教育振興基本計画
WEBサイト

中高一貫教育の概要と設置状況

1 導入の趣旨

従来の中学校・高等学校の制度に加えて、生徒や保護者が6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会をも選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すものとして、中央教育審議会第二次答申(平成9年6月)の提言を受けて、「学校教育法等の一部を改正する法律」が平成10年6月に成立し、平成11年4月より、中高一貫教育を選択的に導入することが可能となりました。

2 中高一貫教育の実施形態

中高一貫教育については、生徒や保護者のニーズ等に応じて、設置者が適切に対応できるよう、次の3つの実施形態があります。

(1) 中等教育学校

一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行うものです。

(2) 併設型の中学校・高等学校

高等学校入学者選抜を行わずに、同一の設置者による中学校と高等学校を接続するものです。

(3) 連携型の中学校・高等学校

市町村立中学校と都道府県立高等学校など、異なる設置者間でも実施可能な形態であり、中学校と高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深めるかたちで中高一貫教育を実施するものです。

3 制度の概要

(1) 中等教育学校

ア) 中高一貫教育を実施することを目的とする新しい学校種として設けられたものであり、学校教育法において、その目的、目標、修業年限、前期課程と後期課程の区分等について規定しています。

イ)中等教育学校の教育課程については、前期課程は中学校の基準を、後期課程は高等学校の基準をそれぞれ準用するとともに、中高一貫教育校として特色ある教育課程を編成することができるよう教育課程の基準の特例を設けています。

ウ)中等教育学校への入学については、設置者の定めるところにより校長がこれを許可することとし、この場合、公立の中等教育学校においては学力検査を行わないこととしています。

(2)併設型の中学校・併設型高等学校

ア)学校教育法において、中等教育学校に準じて、同一の設置者が設置する中学校及び高等学校において中高一貫教育を行うことができることを規定しています。

イ)併設型の中学校・高等学校の教育課程については、中学校の基準及び高等学校の基準をそれぞれ適用するとともに、中等教育学校と同様の教育課程の基準の特例を設けています。

ウ)併設型中学校への入学については、設置者の定めるところにより校長がこれを許可することとし、この場合、公立の併設型中学校においては、学力検査を行わないこととしています。また、併設型高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒については入学者の選抜を行わないこととしています。

(3)連携型の中学校・連携型高等学校

ア)学校教育法施行規則において、中学校及び高等学校においては、高等学校又は中学校における教育との一貫性に配慮した教育を施すため、当該学校の設置者が設置者間の協議に基づき定めるところ(設置者が同一の場合には設置者の定めるところ)により、教育課程を編成することができるとともに、当該中学校及び高等学校は、両者が連携してそれぞれの教育課程を実施することを規定しています。また、中高一貫教育校として特色ある教育課程を編成することができるよう、教育課程の基準の特例を設けています。

イ)連携型高等学校における入学者の選抜は、設置者間の協議に基づき編成する教育課程に係る連携型中学校の生徒については、調査書及び学力検査の成績以外の資料により行うことができますとしています。

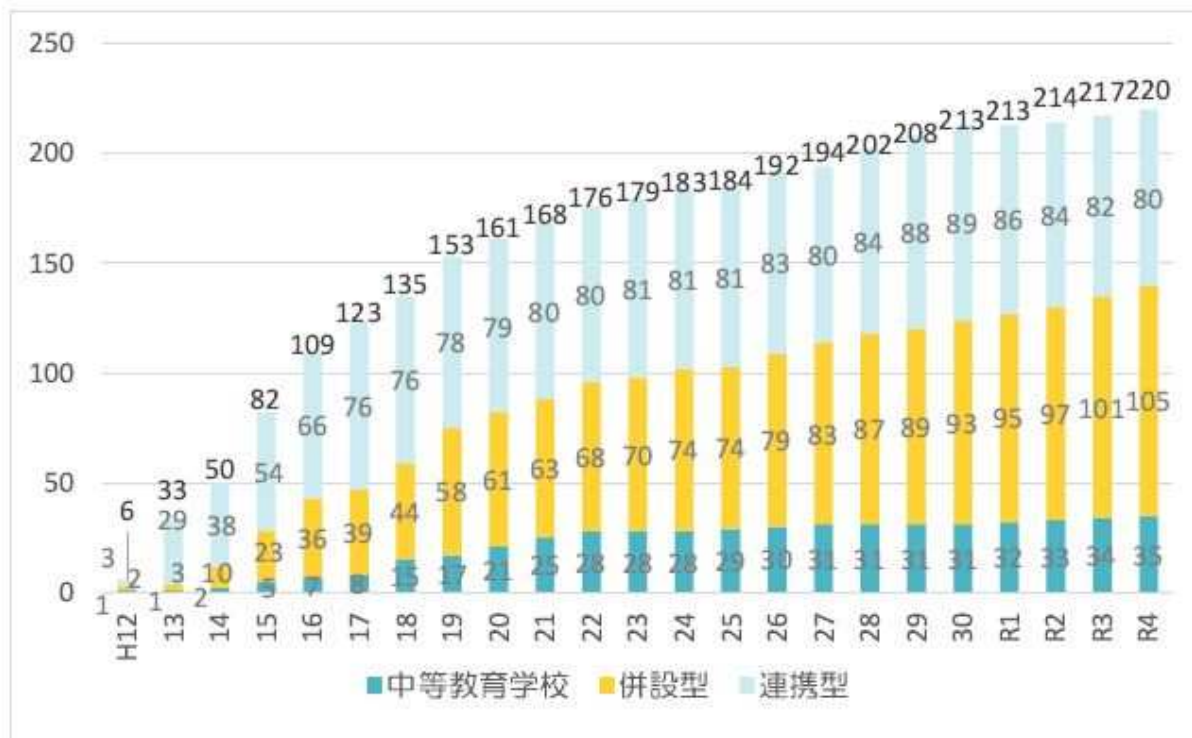
4 設置状況

最新の設置状況、設置校の一覧は、「[高等学校教育の改革に関する推進状況](#)」を御参照ください。

お問い合わせ先

初等中等教育局 参事官(高等学校担当)付

中高一貫校教育校の設置状況（公立のみ）



（参考：文部科学省「高等学校教育の改善に関する推進状況 令和4年度」）

政令指定都市における中高一貫校設置状況

No.	都市名	設置	設置形態		学校名	備考
			中等教育	併設型		
1	札幌市	○	○		札幌開成	
2	仙台市	○	○		仙台青陵	
3	さいたま市	○		○	浦和	
			○		大宮国際	
4	千葉市	○	○		稲毛国際	
5	横浜市	○		○	南高校	
				○	横浜サイエンスフロンティア	
6	川崎市	○		○	川崎	
7	相模原市	-				
8	新潟市	○	○		高志	
9	静岡市	-				
10	浜松市	-				
11	名古屋市	-				愛知県がR7年度に4校の県立中高一貫校を開校予定（うち1校は名古屋市内）
12	京都市	○		○	西京	
13	大阪市	○		○	咲くやこの花	R4大阪府に移管
				○	水都国際	R4大阪府に移管
14	堺市	-				
15	神戸市	-				
16	岡山市	○		○	岡山後楽館	
17	広島市	○	○		広島	
18	北九州市	-				
19	福岡市	-				
20	熊本市	-				

中高一貫教育校の入学者の決定



(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ikkan/10/1315802.htm)

兵庫県内の国公立中高一貫教育校

1. 兵庫県立芦屋国際中等教育学校（芦屋市）
2. 兵庫県立大学附属中学校・高等学校（赤穂郡）
3. 神戸大学附属中等教育学校（神戸市）

兵庫・大阪の IB 認定校

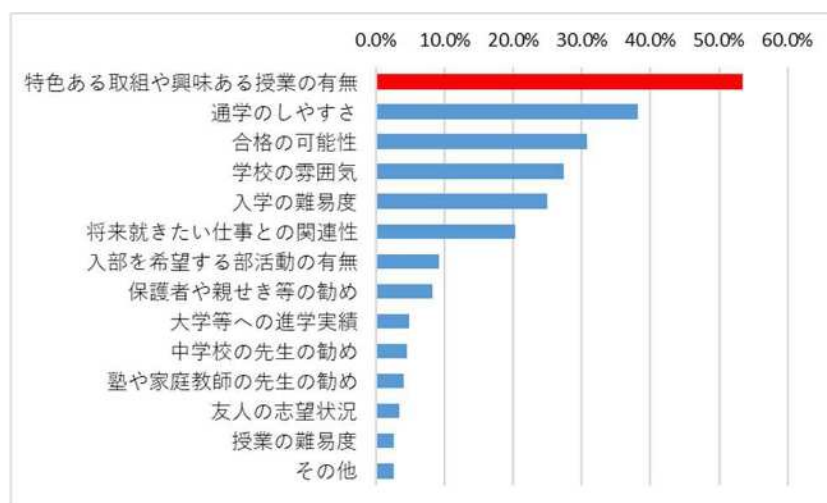
県	学校名	DP	日本語 DP
大阪	関西学院千里国際中等部・高等部	○	
	関西学院大阪インターナショナルスクール	○	
	コリア国際学園		○
	大阪女学院中学校・高等学校		○
	大阪国際中学校高等学校	○	
	大阪府立水都国際中学校・高等学校		○
兵庫	カネディアン・アカデミー	○	
	関西国際学園	○	
	マリスト国際学校	○	
	AIE 国際高等学校		○

アンケート結果 (進路決定に際し重視したもの：3つまで)

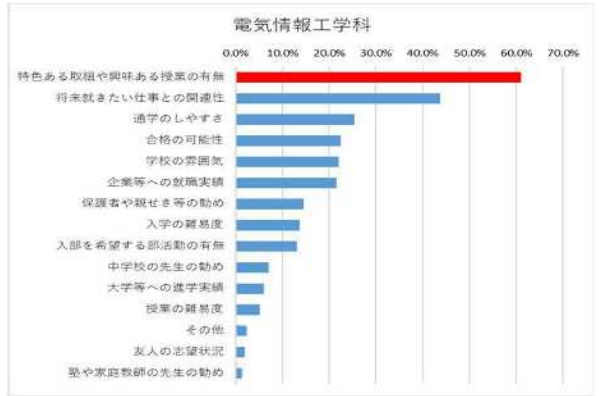
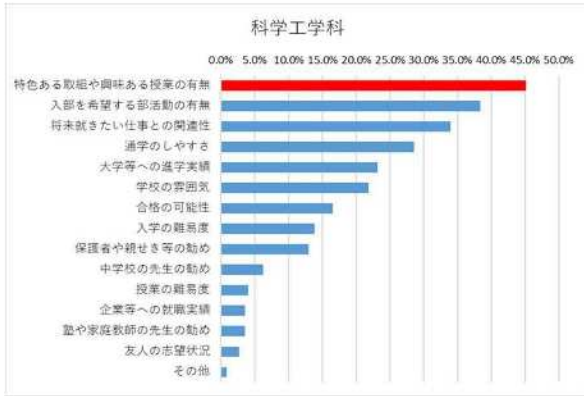
各校詳細



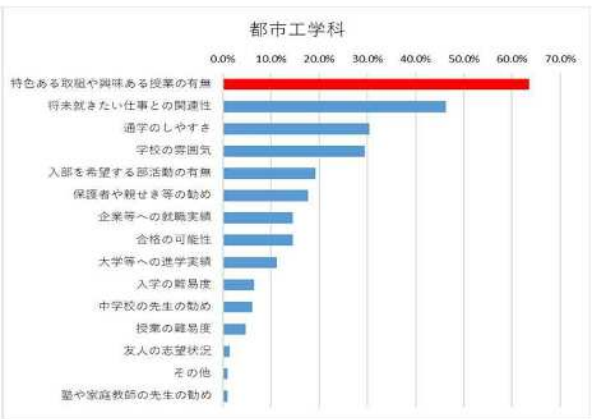
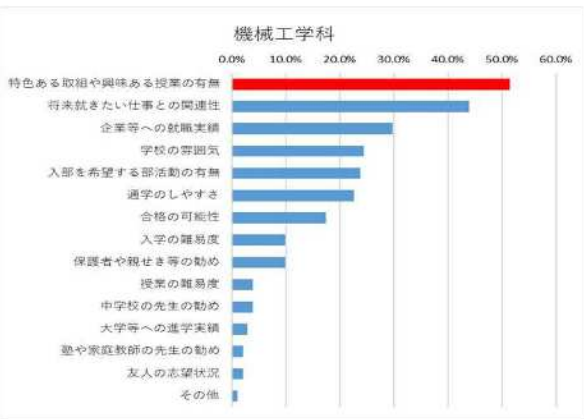
六甲アイランド高校



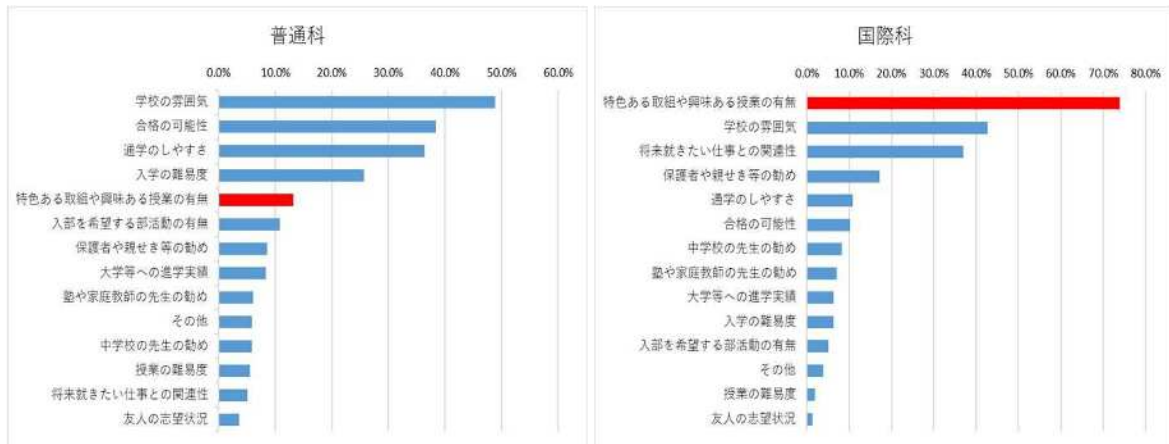
科学技術高校



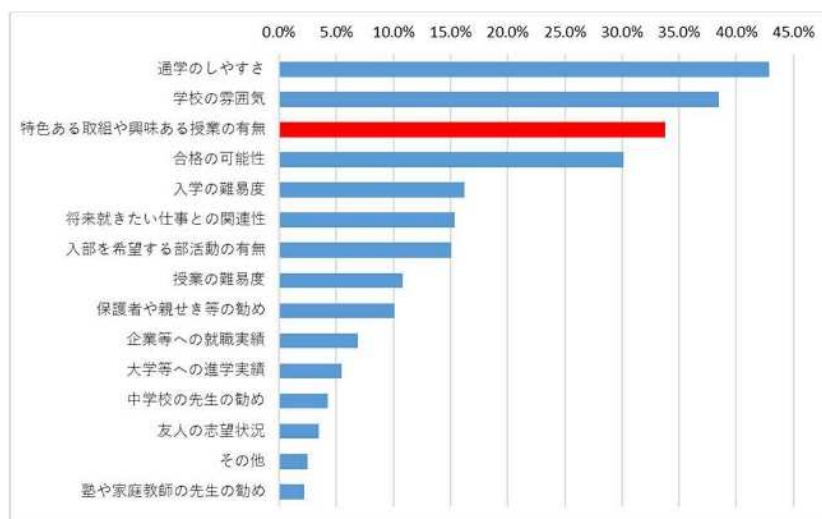
科学技術高校



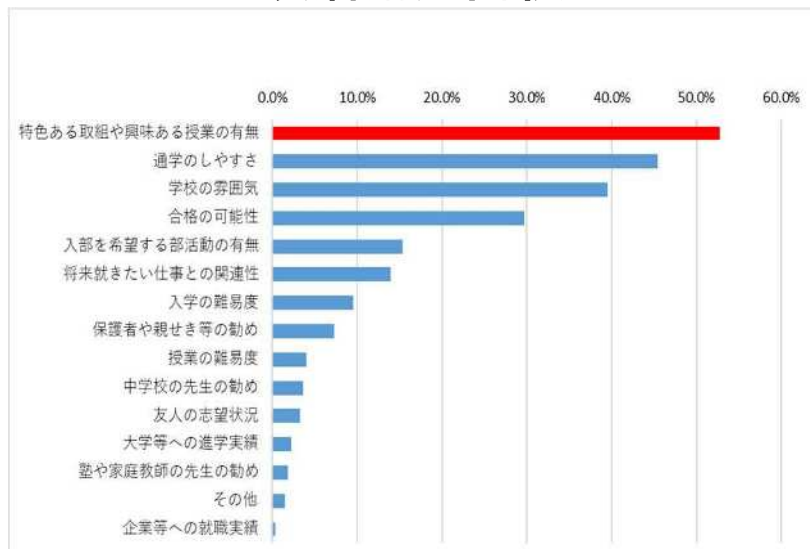
葺合高校



神港橋高校



須磨翔風高校



アンケート結果 (事務局説明資料に未掲載分)



アンケート回答者

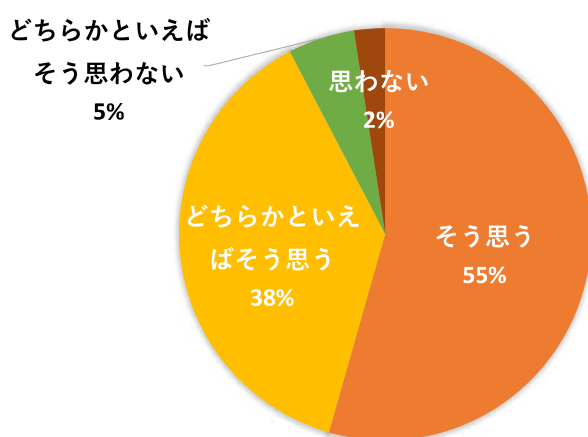
市立高校（全日制）の生徒 3,292名（回答率66%）
 （1年生 998人 2年生 1,177人 3年生 1,117人）

市立中学校の3年生 6,973名（回答率63%）



高校生

1. 学校の勉強は社会に出てから役に立つか



（出典） 文部科学省・厚生労働省「第16回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」（H30.9）

市立高校生は、全国調査に比べて肯定的な回答率が17ポイント高い。

2-1. 中学生に伝える在籍校の魅力

【六甲アイランド高校 主な意見】

- ・美術、音楽、保育、介護、総合化学、スポーツにおいてやりたいことをとことんできる。美術コースの文化祭ではそれぞれで共同制作を通して学年を超えた作品作りをする。**自分らしい生き方をする**ための過程において長けている授業内容。
- ・まず学校全体の雰囲気良く、単位制であるため、二年次からは系ごとに分かれて**自分が学びたい科目を選択できる**！また、文化祭や体育祭などの行事が充実していてとっても楽しい！
- ・国際色が豊かな島に位置しているため外国の方と触れ合いやすい。また、神戸学を通して神戸の課題と自分自身が調べたいことに関しての探究活動ができる。
- ・単位制の高校なので自分の進路の為に高校二年の段階で取り組める環境が整っていると思います。音大や芸大や体育大を目指している人にとっては、ほかの高校より**専門的な知識を学べる環境が整っている**と思います。
- ・**研究し、それを発表する**のでとてもいい経験になる。発表会に行ったとき、**大学の先生や学生の方がいる**ので話を直接聞ける。
- ・自分自身の**個性を引き立てて強みに変えてくれる**ような学校です。高校生のうちから興味のある学びの分野を専門的に学べるので、大学や専門学校に進学した後、他との差別化が図りやすくなると思います。同じようなことが好きな子たちがたくさん集まっているので、シンプルに楽しいです。

幅広い選択科目と単位制高校の良さが語られている

2-2. 中学生に伝える在籍校の魅力

【科学技術高校 主な意見】

- ・他には無い工作機械や実際に製造現場に置かれているような切削加工機など**設備がとても充実している**事。また、実習など危険な場面があるため、メリハリをつけて日々過ごしている。
- ・自分のやりたいことをできる学校。工業、スポーツ共に**設備が整っていて、部活動も充実している**。
- ・普通の高校では学べない社会の基盤を造る上で重要な知識やスキルを得ることができ、就職してからも使うような**社会性も授業を通して身につけることができる**のでおすすめです。
- ・部活動は活発で**いろんな部活があり**、スポーツが好きだったり、運動が好きな人は必ず楽しい高校生活になります。
- ・専門科目の勉強はそれなりに難しいけれど、**実践的な方法でも教えてくれる**からすごくわかりやすい。目指したい職業がこの学校の科目で学べるのならぜひ来てほしい。
- ・校内には色々な施設があり溶接や旋盤、レーザー加工など実践的な勉強も出来ます。また、CAD（PCで作る設計図的な物）など**最先端な授業を受ける**事ができます。他にも企業から求人がきやすく、実績もある為、**就職を考えてる人には強くおすすめ**します。
- ・特色ある授業があるため、工業系の職に将来つきたいと考えている人は飽きずに勉強等に専念できる良い学校

実践的かつ高い専門性を身につけることができ、部活動との両立を図ることができる

2-3. 中学生に伝える在籍校の魅力

【葺合高校 主な意見】

<国際科>

- ・様々なバックグラウンドを持った生徒がたくさんいて、努力家と個性溢れる学校です。
- ・グローバルなアクティビティにたくさんチャレンジすることができます。また、多様な価値観を持った人達と出会うことができます。
- ・確かな英語力と国際問題などの知識、また、課題解決能力を身につけることができます。

<普通科>

- ・英語の授業のレベルが高いので、英語力が鍛えられます。また、ALTの先生がたくさんいるので、実践力もつきます。学校行事に熱心な人が多いので、体育大会などは盛り上がります。
- ・色々なことにチャレンジできる環境が整っていて、チャレンジする人も多いので、自分から行動すれば充実すると思う。
- ・他校に比べて国際的なので、より広い視野や今後必要な国際性を養うことができる。
- ・英語に関する事業やプロジェクトが充実していてチャンスがたくさんある高校だと思う。
- ・自分自身を深く探求する授業が多くあったり、自分の将来に向けてのビジョンを立てやすくなる取組みが多く、まだ進路が考えられていなくてもここから見つけられる機会がたくさんある学校です。

多様なチャンスがあり、チャレンジできる環境が整っている。確かな英語力を修得できる

2-4. 中学生に伝える在籍校の魅力

【神港橘高校 主な意見】

- ・検定試験を受けることができ、色々な資格を取ることができるため就職でも進学でもどちらに進路を進めても役に立つ。
- ・中学校で学んできた範囲からもう一度丁寧に教えてもらえるので、中学校でつまづいてしまった人もついていきやすく、商業という新しい勉強が始まるのでみんな同じスタートが切れる。
- ・商業の授業に不安があっても初心者レベルから授業してくれるので非常にわかりやすい。部活動も文武両道を掲げ運動も勉強も積極的に行っている。他の県立高校や私立高校にはない課題研究や総合探究で自分を見つめて、道徳的な学習もできる。図書館の本も多い!!
- ・資格を取る時に放課後や朝に勉強会のようなのを開いてくれることがあるので、わからないことは聞きやすいと思います。ボランティアが多いのでたくさん参加したい人はしやすいと思います。
- ・高校生ホテルや高校生バスツアーといった特色のある研修が多く、普通科では経験することができないことを経験できる。
- ・商業高校だからこそ高校生のうちからビジネスやマナーについてしっかり知ることができる。検定があるから将来就きたい職業に就くことができる。

学び直しができ、就職に繋がる商業科目の学習や資格取得、ビジネスマナーを修得できる

2-5. 中学生に伝える在籍校の魅力

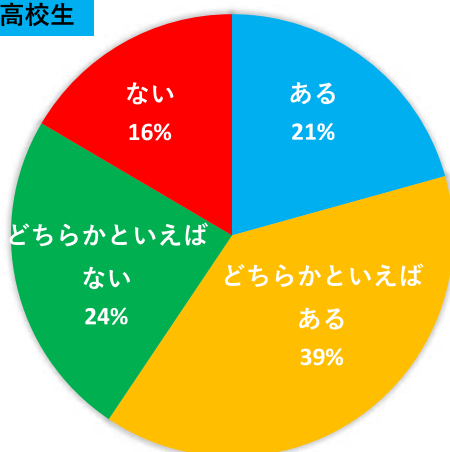
【須磨翔風高校 主な意見】

- ・他校にはない**特色ある選択科目があって**とにかく楽しめる学校というのが大きな印象です。**部活動にも真剣に取り組める**し、綺麗な学校なので魅力がたくさんある。
- ・キャリアプランニングの授業ではパワーポイントを使った発表が多く、**社会に出てから役立つ経験ができる**。授業が選択でき、それぞれの進路に向けた勉強に集中できる。
- ・この須磨翔風高校は**自分を発見して将来の夢を明確にできる**のが魅力の一つです。須磨翔風高校であれば自分で時間割作りができるので、**将来についてたくさんの選択肢を得る**ことができます。
- ・須磨翔風高校では、教育実習という授業があります。2人の先生を中心にゲストティーチャーなどを招いて将来教師になるための専門知識を学ぶことができます。中学や高校の教師を目指す人は是非この授業を選択して欲しいと思います。
- ・2年次からは**自分の将来と向き合い、今の自分に必要な授業を取る**ことができ、そうすることによってテスト勉強もとても楽しくすることができるので、この須磨翔風高等学校はとても魅力に満ち溢れた学校です。
- ・キャリアプランニングや人間関係など独自の授業があって**将来についての選択肢が広がる**。部活動も積極的に行われていて、校舎も綺麗で学校の雰囲気もいい。学食が全部美味しすぎる。

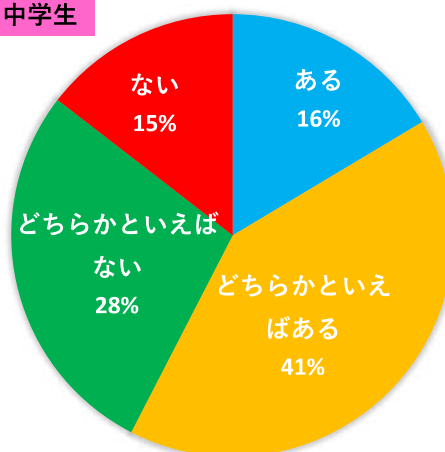
自分の将来と向き合い、夢を実現するために必要な授業を選択することができる

3-1. 探究への興味・関心

高校生

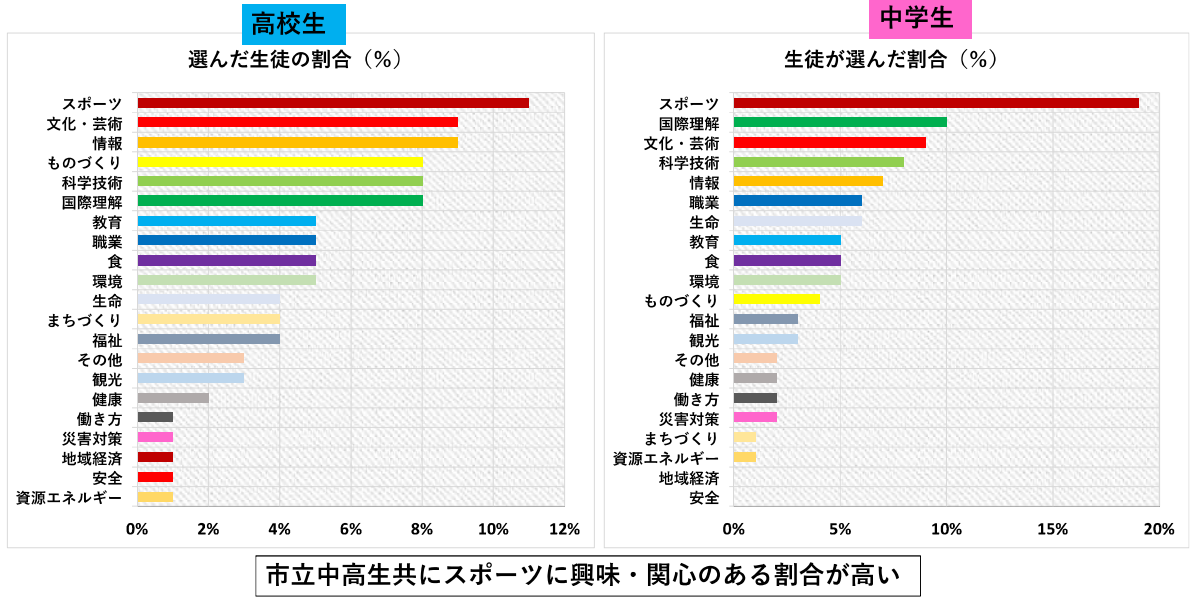


中学生

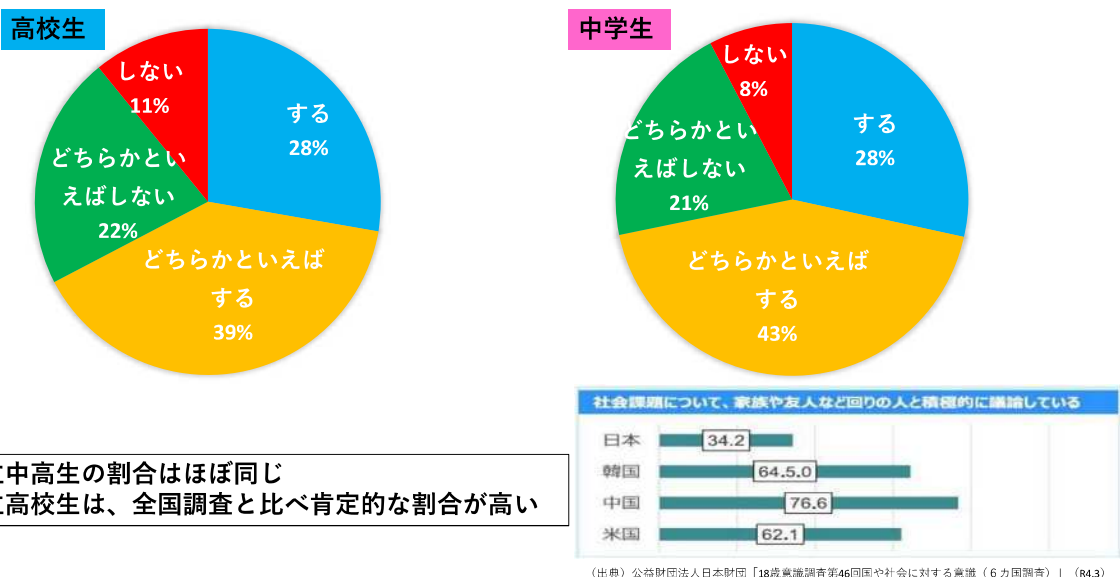


市立中高生の割合はほぼ同じ

3-2. 最も興味・関心のあるテーマ



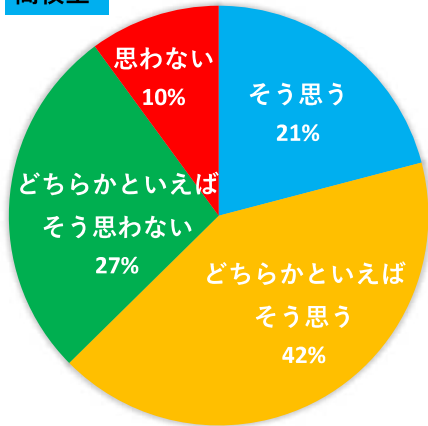
4. 社会の出来事について家族や友人と話すか



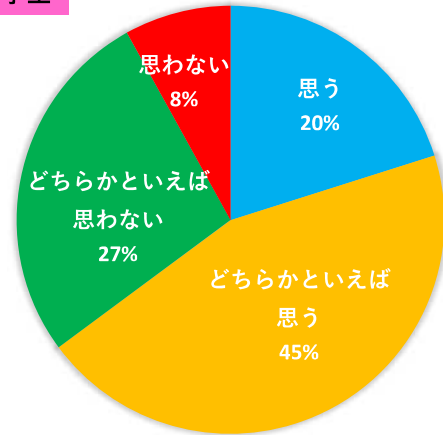
5. 理想の世の中に向けて役に立てるか

5. よりよい社会に向けて役に立てるか

高校生



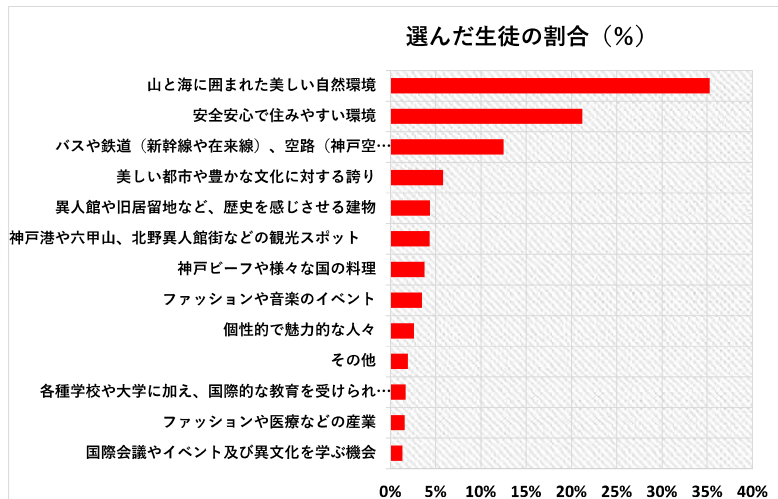
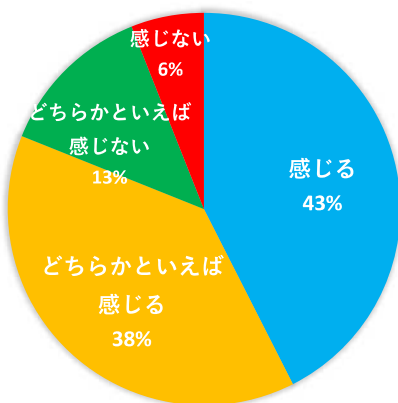
中学生



市立中高生の割合はほぼ同じ

6. 神戸のまちに魅力を感じるか

高校生



市立高校生は、圧倒的に山と海に囲まれた自然環境や住環境に魅力を感じている

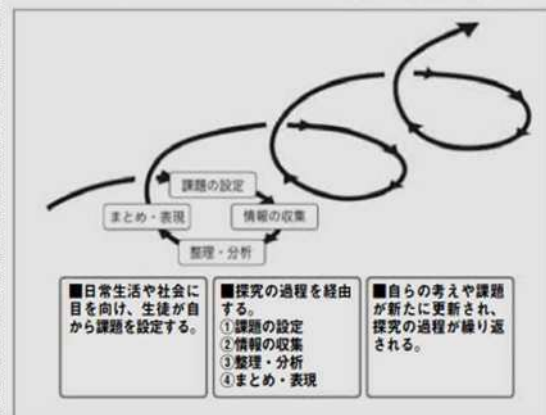
探究的な学習

【定義】

探究的な学習とは、図のような問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の学習活動

- ①【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②【情報の収集】 必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④【まとめ・表現】 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

図 探究的な学習における生徒の学習の姿



出典：文部科学省『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開』（高等学校編）

キャリア教育

【定義】

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

※キャリア発達とは...

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

出典：中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」